

2005年8月3日

米国モーリス発電所買収について

三菱商事は、米国カリフォルニア州ロサンゼルス市に拠点を置く全額出資子会社であるダイヤモンドジェネレーティング社(DGC社)を通して、8月1日(日本時間8月2日)に米国の独立系電力大手のカルパイン社より、米国イリノイ州シカゴ市近郊にある17万7千kWのモーリス発電所を買収しました。

本発電所は米国の大手化学品会社であるライオンデル/エクイスター社の敷地内に位置しており、同社との長期契約に基づき電力・蒸気を供給すると共に、米国電力大手のエクセロン社とも長期売電契約も有しています。更に余剰電力を PJM 電力市場(米国北東部に位置する米国最大の電力市場)向けに売電することができます。運転・保守は DGC 社が行います。

三菱商事は、DGC社を通じて米国において本件を含め10件合計約626万kWの民間発電プロジェクトに投資しており、持分容量では約213万kWを保有しています。昨年10月に買収したワイルドフラワー発電会社(Indigo 発電所及び Larkspur 発電所)に続き、DGC社が100%所有・運転する3件目の発電所になります。

三菱商事は1980年代より海外発電事業に取り組んでおり、現在全世界で持分容量約400万kWを米国・メキシコ・フィリピンなどに保有しており、今後とも三菱商事の成長戦略の一環として事業規模を拡大してゆく方針です。

案件概要

事業内容	熱電供給事業
所在地	米国イリノイ州モーリス(シカゴの南西60km)
出力	17万7千kW
燃料	天然ガス
発電方式	ガスタービン複合火力発電
売電先	ライオンデル/エクイスター社 エクセロン社
出資者	ダイヤモンドジェネレーティング社 (三菱商事全額出資子会社)

以上